

9

原罪と自罪

1. アダムとエバは、どのように墮落しましたか。

アダムとエバは悪魔の誘惑を受け、罪を犯し、それによって墮落しました。悪魔は蛇を道具にして先にエバを誘惑しました。それからエバを道具にしてアダムを誘惑しました（1テモテ2:14）。悪魔がエバを誘惑した方法は、先ず、彼女と言葉を交わすことでした。そのように始めながら、彼女が、神の御言葉に対して疑いを抱くようにすることでした。悪魔はエバに、神を忘れ、自分に屈服させようと、あらゆる手段を用いました。自分が神よりもっと人間を愛しているかのようには話しました。そして、禁じられた実を食べれば、神のようになると嘘を言い、エバをあおり立て、傲慢を吹き込みました。悪魔は、悪意を持って嘘を言いながら、エバに罪を犯させました。結局エバは、悪魔の誘惑を受け、神さまが禁じた実を食べたことで罪を犯し、妻の言うことを聞いたアダムも禁じた実を食べ、罪を犯しました。

2. アダムの初め、おもな罪は何でしたか。

アダムの全体的な罪は不従順でした。アダムの罪は、ますます程度が深くなって行きますが、初めは不忠実、その次は傲慢、最後は禁じた実を食べたことで、神に不従順したのです。これが、人類が犯した最初の罪であり、その罪の結果として、すべての人類が生まれながら原罪を持った状態、つまり、墮落した状態になったのです。

3. アダムが犯した罪と、その心に刻まれた道徳法とは、どんな関係がありますか。

アダムが、禁じられた実を食べたことは、ただ、規定を破ったことではなく、その心に書き記されている道徳法に違反したことです。彼は、神に不従順し、神の愛に対して疑いを持ち、神の警告を無視しました。悪魔の言葉をもっと信賴し、神の言葉の通りに行いませんでした。神の敵と交通しながら、善悪をさらに知ることを望んだのです。これは、第一の戒めを犯したことです。一方で、彼が、すべての人々に死をもたらしたのは、十戒の殺人罪にも該当されます。

4. アダムとエバが犯した、罪の結果は何でしたか。

アダムとエバが罪を犯した直後に、死が彼らに臨まれた訳ではありません。しかし彼らは、罪の中で死んだ状態になりました。つまり、神の恵みから分離されています。神の形として造られた栄光ある靈魂の機能も、歪んでしまいました。彼らの体を腐敗の勢力が掌握するようになりました。このようにアダムの墮落によって、すべての人々の生活からも罪が流れ出るようになりました。これを自

罪 (actual Sin) と呼びます。アダムは神さまが現れた時、隠れました。また、自分の罪に対して言い訳を言い、そのすべての責任をエバに、そして神に帰しました。罪が人類に入ってくるるとすぐに、霊的な死が入って来たのです (エペソ 2:1)。

5. アダムとエバがイチジクの葉で、自分たちの衣を作った理由は何ですか。

善悪を知るようにさせる木の実を食べた時、彼らの目は開かれました。そして、彼ら自身が裸であるのを知るようになりました。彼らが墮落する以前には裸であったのに、それについて、恥ずかしがったり、羞恥なことと思わなかったのです。墮落する以前は、無罪の衣を着ていたので羞恥心がなかったのです。しかし、罪が入って来た以降は、恥ずかしさと羞恥を感じるようになりました。罪による吐き気が自分たちの目に入り、良心に呵責が起きたのです。

罪が入って来た以降から、私たちの霊魂と体全体が、裸の状態のまま恥ずかしい姿をしています (黙 3:17-18)。しかし、アダムとエバは愚かなことに、自分たちの内面の羞恥を直そうと努力するより、外面の羞恥を隠すためにイチジクの葉で腰の覆いを造ります。このようにしてアダムとエバがイチジクの葉でスカートを作って着た行動は、すべての人間が自分たちの罪を自ら隠そうとする行為と同じです。

6. 私たちの最初の祖先である、アダムとエバが罪を犯した以降

その子孫である私たちは、どのような状態にありますか。

禁じられた実を食べた彼らの罪は、すべての人の罪です。彼らは人類のかしら (代表) として罪を犯し、その罪が、その子孫たちに転嫁され、すべての人は罪人になりました。すべての人に死が入って来るようになります (ロマ 5:12)、罪責の状

態にいます。神の栄光に至らなくなりました(ロマ3:23)。従って、すべての人は、本性上、罪の中で死んでいる状態です。それであらゆる罪を犯し、また犯します(Iテモテ5:6)。人間が罪を犯すことで罪人にもなるけど、罪を持って生まれるから罪を犯し、罪人になるのです。

7. 罪の状態にいるとは、何を意味しますか。

アダムは、善悪を知るようにさせる木の実を食べてはならないという規定を、神から受けました。その心に律法(道德法)が書き記されていました。しかし、すべての人々を汚染させたアダムの最初の罪は、その規定と戒めを破ったことでした。従って罪というのは、神の戒め、あるいは、律法に違反することです(Iヨハネ3:4)。神の律法に反する者は、罪人として神の御前で有罪判決を受けます。律法の呪いの下にいるようになります。神はすべての人に、ご自分の律法を守るように命じていますが、人々はそれを守ることでもできず、また、守ろうとする心もありません。それで戒めを犯し続けながら、罪の状態にいるのです(ロマ8:7)。

8. アダムの罪が、すべての人々を、どのように汚染させましたか。

神は、人類のかしらであるアダムと契約を結ばれました。しかしアダムが、その契約を破ったのです。アダムが契約を破った時、その子孫であるすべての人が、その最初の罪を犯したのです。これが他の、すべての罪の原因となり、すべての人が罪を犯すようになりました(ロマ5:12、18-19、Iコリント15:22)。それで人々は、本性上の罪人であり、行為によっても罪を犯します(コロサイ3:5)。すべての罪が自然にアダムから転嫁されて来るのです。そしてアダムから腐敗性を受け継ぎました(詩51:5)。それで、この世に生きる限りすべての人は、実際に罪を

犯しているのです (イザヤ 48:8、エレミヤ 13:23)。神から贖いの恩寵を受け入れない中で、罪責と腐敗した本性によって、汚れた心と良心を持って生きて行きます (テトス 1:15)。

9. アダムの罪によって、腐敗された人々の特徴は、どう何ですか。

アダムの罪によって腐敗性を受けついで人類は、神の戒めを無視しながら守りません。神の公義を無視して不義を行います。そして自分たちの、悪い本性に従って罪を犯します。彼らの自然な性向は、不義に傾いていて、罪を犯すのに慣れ親しんでいます (ヤコブ 1:14、ロマ 7:21、23)。彼らは、神の聖を反対しながら汚れた行為を行います。情欲の中で自分たちのあらゆる欲望を追及します。善については憎み、すべての悪の方式を使用しながら、悪魔に自分を道具として分け渡しています。これは、罪を真似するなり、模倣するのでもなく、本性上、悪に傾いて罪を犯すのです。

10. アダムの罪によって、人々の霊魂は、どのように腐敗しましたか。

アダムの罪は、すべての人の霊魂を腐敗させました。人間の霊魂には色々な機能があります。罪は、人間の心を暗くさせ、天に関する事や、神の御心について無知な状態にさせます (I コリント 2:14、エペソ 4:17-19)。従って人々は、神の御心を知ろうともせず、学ぼうともしません。神の真理については疑い、偽りや無駄なことをつかみます。多くの人が偽り宗教と誤りと異端の教えに従う理由はここにあります。人々の意志が善を行うことと、神の御心を実行することに無能になりました (ピリピ 2:13)。

また、人々の意志が、罪と悪魔の奴隷となり、頑なさや情欲を追及するように

なりました。神に意図的に敵対するようになりしました (ロマ 8:7)。従って人は、自分の意志の無能さによって、自ら神に立ち返ることができません。人々の情緒もやはり腐敗しました。憎しみと怒りと復讐心と恐れが情緒を掌握し、罪悪を最も愛するようになりしました。人の良心も腐敗して汚れてしまいました (テトス 1:15)。良心がすべきことを判断し、指示する機能ができなくなり、神が憎む事ばかりするようになりしました (I コリント 8:7、コロサイ 2:21-22)。それゆえ、無感覚な者と同じく行動をします (エペソ 4:18-19)。

11. 罪に対する、神の処罰は、何ですか。

神は、罪の報いとして罪責が起こるようにさせ (ロマ 6:23) 神の怒りと呪いとを宣言します。体は、死の力の元に置かれ死んで行き、霊的にも死の処罰を受けます。この処罰は、この地から始まり、永遠の裁きによって完全に成就されます (ヨハネ 3:18-19、5:24、28-29)。神の審判は、罪人である当事者に下るけど、罪人に属するすべての所まで拡張されます。ここには、評判を失うこと、財産、友達、子供を失うことまでも含まれます (詩 109:12)。神の審判は部分的には、内的にも外的にも来ますが、外的な事としては、災いと羞恥を受けることと厳しい貧困、体の病があります。内的な審判としては、災いによる悲しみ、煩惱、愚かさ、霊的無知、心の頑なさ、地獄に落ちることに対する恐れと良心の苦しみ、神の呪いに対する恐れが含まれます。